

研修No. 100

2022年度 病院医学教育研究助成成果報告書

報告書提出年月日	2023年 3月 22日
研究・研修課題名	感染制御に関わる“抗酸菌エキスパート”“感染制御認定薬剤師 (BCPIC: Board Certified Pharmacist in Infection Control)” “感染制御認定臨床微生物検査技師 (ICMT: Infection Control Microbiological Technologist)” の新規資格取得のための講習会参加
研究・研修組織名 (所属)	感染制御部 (所属: 感染制御部部长・副病院長、総括責任者: 大野 智)
研究・研修責任者名 (所属)	羽田野義郎 (感染制御部副部长・ICTリーダー)
研究・研修実施者名 (所属)	大仁田哲修 (薬剤部薬剤師)

成果区分	<input type="checkbox"/> 学会発表 <input type="checkbox"/> 論文掲載 <input type="checkbox"/> 資格取得 <input type="checkbox"/> 認定更新 <input type="checkbox"/> 試験合格 <input checked="" type="checkbox"/> 単位取得 <input type="checkbox"/> その他の成果 ()
該当者名 (所属)	研修実施者に同じ
学会名 (会期・場所)、認定名等	成果欄に記載
演題名・認証交付元等	成果欄に記載
取得日・認定期間等	成果欄に記載
診療報酬加算の有・無	<input checked="" type="checkbox"/> 加算有 (感染対策向上加算 1) <input type="checkbox"/> 加算無

目的及び方法、成果の内容**①目的**

感染制御活動は、患者および職員の安全を確保するために不可欠な活動である。

本院は診療報酬上の感染対策向上加算 I を算定し、H30 年度から AST (抗菌薬適正使用支援チーム: Antimicrobial Stewardship Team) を組織して感染制御体制の強化を図った。

院内感染制御活動は医師、看護師、薬剤師、臨床検査技師、事務職等、多職種チームがそれぞれの専門性を発揮して実践しており、特にアウトブレイク防止には、コメディカル専門家の経験・実力・初動によるところが大きい。質の高い院内感染対策の継続のためには、一定数の有資格者が活動することが必要であり、本申請では、感染制御分野での専門性の発揮を希望するコメディカル職員が、感染制御に関する講習会・学会に参加し、専門知識の取得と技術の向上ならびに資格の新規取得を目的とする。

加えて、コロナウイルス感染拡大にともない、感染症に関わる人材育成は喫緊の課題であるといえる。

②方法

病院の感染制御活動は、組織横断的な多職種連携があってはじめて達成されるものであり、それを担う職員は感染制御に関する専門性の高いエキスパートであることが求められている。その専門性を担保する資格の新規取得には、職種によって要件は異なるが、3 回以上の講習会・研修会への参加があってはじめて申請が可能となる。本課題は、感染制御に関わる資格の新規取得を希望するコメディカルが、資格取得のため、学会または講習会の参加を目的として申請するものである。

③成果

氏名：大仁田哲修
講習会名：令和4年度日本病院薬剤師会感染制御専門薬剤師講習会
主催団体：一般社団法人 日本病院薬剤師会
期日：第1回 Web 2022年5月28日(土)
第2回 Web 2022年10月15日(土)
第3回 Web 2023年1月28日(土)
成果：日病薬病院薬学認定薬剤師制度 10.5単位取得